



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.78

令和7年(2025年)

9月1日発行

はまた 議会だより



6月定例会議

今回はこれがポイント！

総額6億2,524万円の補正予算を可決

6月定例会議では、市長提出議案18件、議会提出議案1件について審議しました。

市長提出議案の条例改正では、国の基準や法律の改正に基づくものがあり、財産の取得は「庁舎LED照明器具」「生活路線バス」「除雪ドーザ」および「小型動力ポンプ付軽積載車」が提案されました。工事請負契約の締結では、「浜田市次期防災情報システム整備工事」「美又温泉外湯建設工事に伴う工事2件」その他、市道路線の廃止および認定、指定管理者の指定、浜田市名誉市民の選任について同意を求める議案も提出されました。また、議会からは「地方財政の充実・強化に関する意見書」を提出しました。

令和7年度浜田市一般会計補正予算(第3号)は、「農道法面緊急安全対策事業」2,500万円、「浜田橋整備事業」2億7,450万円などが計上され、令和7年度浜田市一般会計補正予算(第4号)は、「米価等物価高騰対策支援事業」5,054万5千円、「学校給食費物価高騰対策事業」1,455万2千円が計上され、全ての議案を全会一致で可決しました。

トピックス

お米クーポン券 利用しやすく一部修正

物価高騰が市民生活を圧迫する中、国・県からの物価高騰対策に乗せし、家計負担の軽減を目的とした支援策が打ち出されました。内容は学校給食における食料購入の補助事業と市内全世帯を対象としたお米購入用クーポン券配布。どちらも市民生活を守る現実的な事業として注目を集めました。

- 問** お米購入用クーポン券は何円分配布されますか？
- 答** 千円分のクーポン券が2枚。合計で2千円分が配布されます。いつ頃配布されますか？
- 問** 令和7年7月下旬頃に届く広報はまだ8月号に折り込んであります。
- 答** クーポン券の有効期限はいつまでですか？
- 問** 令和7年11月28日までです。
- 答** お米の購入にしか使えないのですか？
- 問** クーポン券取扱店舗では、お米以外の商品も購入可能です。
- 答** クーポン券が使えるお店はどこですか？
- 問** 市内でお米の取り扱いがある店舗です。チラシに記載されています。

- 問** います。事業にかかる財源の内訳は？
- 答** 総額約5,054万円の事業費のうち、2,033万円がふるさと応援基金、残りは国からの補助金です。
- 問** 学校給食への補助額は？
- 答** 1食当たり32円の補助を行うため総額、約1,455万円をふるさと応援基金から充当し、保護者への負担軽減を図ります。



配布されるお米クーポン券

市単独予算で 旭中学校防音対策調査

旭地域では米軍機などの航空機の飛行訓練（急旋回など）による騒音被害が10数年前から発生しています。地域内にある旭中学校生徒の学習時の注意力散漫、聴力の障害、また教師においては指導技術の悩み（声量、語調、授業管理）などに影響が生じており、学校教育上支障を来しています。これまでも騒音測定を行い、騒音レベルが防衛施設周辺防音事業補助金に該当することから、対策工事の基本設計を行い業務は完了しましたが、中国四国防衛局から「訓練空域は防衛施設ではないことなどから防音工事への補助を行うことは困難」とありました。そのため、市単独で可能な対応策を検討し、教育環境の向上を図り生徒に適切な学習環境を提供するため、旭中学校校舎の防音対策に係る調査をします。

問

地域の騒音状況はどの程度ですか？

答

旭支所に設置している騒音計の記録では、令和5年中に70dB以上（幹線道路や掃除機、騒々しい街頭）の騒音が579回ありました。以前行われた対策基本設計の結果、必要とされた総費用はどの程度でしたか？

答

総事業費は約6億円となり、地元自治体の負担が相当な額になると見込まれていました。また、仮校舎の期間が約1年半と想定され、学習に集中できない環境が長期になります。現校舎は近い将来の建て替えが想定されており多額な投資には慎重にならざるを得ません。

問

調査・設計業務で想定されている防音対策の内容は？

答

校舎の窓の二重サッシ化や特別教室へのエアコン設置です。

お詫びと訂正

平素は「はまだ議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。

前号、「はまだ議会だよりVol.77（令和7年5月1日発行）」につきまして、4ページに掲載しました「令和7年度注目事業の概要と着眼点」の記事において、事業費の金額が一部誤っておりました。読者の皆さまには深くお詫び申し上げます。以下のとおり訂正し、再発防止に努めてまいります。なお、ホームページのPDF版につきましては訂正後のものを掲載しています。

【4ページ 令和7年度注目事業の概要と着眼点】

▶人材還流による移住定住促進事業の事業費

誤 8,640万円
正 864万円

▶避難所看板設置事業の事業費

誤 3,366万円
正 336万6千円



議案等の 賛否の公開

5月臨時会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。
6月定例会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。
各議員の賛否や、陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和7年5月 ●臨時会議● 市長提出議案1件

議案番号等	議案名等	賛成	反対
議案第39号	令和7年度浜田市一般会計補正予算(第2号)	19	1 川上

令和7年6月 ●定例会議● 市長提出議案18件 議会提出議案1件 選任2件

陳情について審査しました 陳情5件

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

20人が個人一般質問



こちらから動画をご覧ください



すべての人に健康と福祉を

米価の高騰で給食費はどうなる？

A 値上げを考えているが、検討したい。

Q 今後の給食費はどうなるか。

A 学校給食用主食米の価格については、米価高騰の影響を受けて大きく高騰しているが、米の値上がり分の金額を補助する補正予算を計上して対応していることから、給食費への直接の影響は出ていない。現在、米以外の食材も著しく高騰しており、給食費の圧迫が発生しているため、給食費へのさらなる支援策を今定例会議において追加提案したいと考えている。



申崎 利行

新型コロナウイルス感染症対応の教訓を記録に

・ 文化を醸成する図書館
・ 浜田城の石垣の管理
・ 太陽光発電などの開発事業時の関係条例 他

A その他の質問項目(その他の質問項目)

Q ホームページに掲載するなど考えている。

Q 市民との情報共有の観点から記録の閲覧は、

A 市民の不安の解消や接種の判断の参考となるような情報の収集と早期の情報発信に心掛けること。

Q その中の教訓事項は、

A 事務報告とは別に庁内体制やワクチンなどの整備状況はダイジェストとしてまとめ記録した。

A 事務報告とは別に庁内体制やワクチンなどの整備状況はダイジェストとしてまとめ記録した。

Q 令和6年6月定例会議で歴史的経験を記録として後世で生かせるよう検証報告書にまとめる必要性を提案したら「事務報告などに残す」との回答であった。後の対応は、

A 令和6年6月定例会議で歴史的経験を記録として後世で生かせるよう検証報告書にまとめる必要性を提案したら「事務報告などに残す」との回答であった。後の対応は、

Q 令和6年6月定例会議で歴史的経験を記録として後世で生かせるよう検証報告書にまとめる必要性を提案したら「事務報告などに残す」との回答であった。後の対応は、



大谷 学



質の高い教育をみんなに

こどもたちの居場所に多様な選択肢を

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。

Q こどもたちがどのような状態にあることを目指すのか。

A 学校へ行くことがゴールではないが、関係者間で情報を共有できる環境が必須。



三浦 大紀

質の高い教育をみんなに

若者の「夢」を応援し定住化を進めよう！



川神 裕司

- 【Ｑ】若者の「夢」を応援する奨学金の返還が負担となっている場合も多いと聞く。返還免除に関して、看護師奨学金制度に対しては取組がある。この対象職種を拡大することが、医療・福祉人材確保のアドバンテージになるのではないか。
- 【Ａ】有効な手段と考える。まずはＵターンをされた看護師に対する支援策の充実から検討したい。
- 【Ｑ】学生の地元定住化推進には学生と地域との関わりが重要である。その視点での施策を検討する必要があるが所見は。
- 【Ａ】さまざまなイベントへの参加を呼び掛け、体験を通して愛着を持っていたく取組を進める。
- （その他の質問項目）
- ・地域DX推進

教育委員会とは独立した組織のいじめ対策を



佐々木 豊治

- 【Ｑ】寝屋川市の「いじめゼロ」に向けた取組を視察した。教育委員会とは独立した市長部局に「監察課」を設置し、迅速かつ徹底した調査・対応を行い、子どもの人権と安全を守るため、独自のいじめ対策を行っており、他の自治体にも取組が広がっている。
- 【Ａ】いじめ対応は教育的配慮をしながらの対応や、人間関係を再構築する難しさの視点を持つ必要がある。制度の導入は慎重に検討する必要があるが、深刻化するいじめに対応する新たな制度の必要性も感じる。
- （その他の質問項目）
- ・地域と学校が連携した竜王町の取組から

不登校児童生徒数急増の現状に危機感を！



村武 まゆみ

- 【Ｑ】令和6年度の不登校児童生徒数の前年度比が、小学校が63%増、中学校が21%増である。どう受け止めているか？
- 【Ａ】前年度は過去最高となった。非常に憂慮すべき状況と認識している。
- 【Ｑ】地域での受け皿が重要。民間団体への国・県補助金などの活用は？
- 【Ａ】支援団体の話を聞き検討する。
- 【Ｑ】出雲市のように不登校対策指針を策定し、早急に対策をするべきでは？
- 【Ａ】考え方だけでも多くの人と思いを共有し、子どもを見守ることができるよう、スピード感を持って努めていきたい。
- （その他の質問項目）
- ・協働のまちづくりの推進、社会教育の推進
 - ・がん対策の推進

ジェンダー平等を実現しよう

安心して子育てできる環境整備を



柳楽 真智子

- 【Ｑ】リトルベビーなど出生してすぐに退院できない赤ちゃんのために、母親が搾乳した母乳を届けている。授乳室のある施設があるが、搾乳のために母親だけが入ることに抵抗を感じるお母さんは多い。「搾乳できます」の表記があれば使いやすくなるが、まず市の施設から「搾乳マーク」の掲示を行う考えはないか。
- 【Ａ】まずは「子育て世代包括支援センターすくすく」で表示を行うことと併せて、市その他施設にも呼び掛けてみたいと考えている。
- （その他の質問項目）
- ・コミュニティソーシャルワーカーの活用
 - ・孤独・孤立対策
 - ・8050問題
 - ・防災士の研修



働きがいも経済成長も

物価高騰対策で水道料金の減免はできないか



小川 稔宏

- Q** 物価高が続くなか家計を助ける対策として、市民へ公平に届く水道料金減免についての認識は。
- A** 水道事業は赤字経営で厳しく、管路更新もある。減免する場合、水道事業での負担は難しく補填財源の確保が前提となる。
- Q** 減収分を水道事業以外から確保できないのか。
- A** 東京都では一般財源から減収分の財源を補填する形で減免をされるが、財政が豊かな東京都ならではとの評価もある。
- Q** 一般財源からの財源確保の可能性はあるのか。
- A** 浜田市は水道料金を値上げしていない。3月の子どもから高齢者までのパッケージ事業や今回の米価高騰対策など、効果が実感でき助けとなるものを適宜考え進めたい。

熱意あるベンチャー企業の誘致を目指せ



肥後 孝俊

- Q** スタートアップ・ベンチャー企業の誘致状況は？
- A** 現在までの誘致実績はない。
- Q** 誘致実績ゼロという結果から、他市の成功モデルを分析し、なぜ有効な戦略を採用しなかったのか？
- A** 現在の市の制度では、安定した業績の企業が対象で、リスクのあるスタートアップなどは対象外だった。しかし、成長の可能性も認識しており、今後は誘致の手法や支援策を島根県とも協議し検討したい。
- (その他の質問項目)
- ・ 公共施設における利用者側から見た通信環境の整備
 - ・ 事業用太陽光発電における現状と課題

市のにぎわいをつくり、人を呼び込み定住へ



芦谷 英夫

- Q** 市内の買い物や食事など年間販売額と県内での順位は。
- A** 年間販売額は身の回り品約20億円、飲食料品約167億円で、両品目とも松江市、出雲市、益田市に次いで4番目である。
- Q** 石見神楽や観光でにぎわいをつくることは。
- A** アクアスやお魚市場などの集客施設を核とし、万博をきっかけに石見神楽、美又温泉外湯施設の開業など進める。
- Q** 地域おこし協力隊の委嘱と今後の定住は。
- A** 平成26年度以降30人を委嘱し、そのうち6人が定住しており、また、県立大学卒業生が隊員として活動している例もある。
- (その他の質問項目)
- ・ 市民の健康づくり
 - ・ 介護サービスの充実



産業と技術革新の基盤をつくろう

起業家支援策の現状は



川上 幾雄

- Q** 起業家への有効な施策（立ち上げ経費などに関わる支援策）の取組状況は。
- A** 店舗改修費や備品購入費など、事業立ち上げ時における費用の一部を補助している。支援の在り方については、要綱を見直すなど有効な支援となるよう取組んでいる。
- Q** 伴走支援策がどうなっているか現状は。
- A** 事業立ち上げの他、その後の事業継続や成長につながる伴走支援策を行うことは重要であり力を入れて取組んでいる。起業後の支援としては事業者が抱える諸問題に対して課題解決に向けた支援を行っている。今後もうした伴走支援を行いつつ、必要な支援に取組んでいく。

住み続けられるまちづくりを

地域井戸端会の声を届ける



田畑 敬二

Q 市道における支障木の対応は？

A 市道の維持管理については、危険木・支障木緊急除去事業や公共土木施設整備事業のほか2億円のふるさと基金を活用して実施している。

Q スクールバスの通学距離による乗車基準は？

A 小中学校の乗車基準は国が示しており、原則小学生4キロ以上、中学生6キロ以上としている。

Q 中学生になると乗れなくなるこの声があるが統一の考えは？

A バスの乗車基準については学校統合より乗車を認めるケースがあるものの、通学距離が原則小学校4キロ以上、中学校6キロ以上という基準を設けており一定の市内統一は図れていると考える。

これからの総合交付金制度の在り方とは？



沖田 真治

Q 長年に及んだ事業についての評価とは？

A 地域の実情に応じた形で地域課題解決に向けた活動支援を行った。一定の効果があつたと認識している。

Q まちづくり総合交付金の使い道について、ニーズがイベント開催より生活インフラの充実に使いたいとのニーズが、高齢化の進む中山間地域において見受けられる。現在の算定基準を柔軟に対応できるよう見直すべきではないか？

A 現行の制度において一定の制限があることから、事業に取組めないケースがあることは承知している。地域から改善を求める声もあることから、今後のまちづくり総合交付金の検討会議において課題の一つとして取り上げる。

市民の抱える課題にどのように伴走するか



牛尾 昭

Q 東平原の西条柿生産農家への補助金交付は。

A 令和7年度は機械更新が集中し、上限に達した。次年度は運用方法を少し検討したい。

Q 子育て中のお母さん方から職がないので困っていると言われたが、役所で短時間勤務の職をつくり雇用できないか。

A 短時間勤務の募集をしている会社もあるため、市役所で対応できるか、考えてみたい。

Q 今福地区の課題解決事業で事業費を少し超えて困っておられるが柔軟な対応をすべきでは。

A 令和7年度に設置した「まちづくり総合交付金制度検証・検討委員会」でも同様な意見があつたため、今後議論を行っていく予定である。

福祉避難所の開所のタイミングは！



村木 勝也

Q 福祉避難所はどのタイミングで開所するのか。

A 保健師や避難所担当職員からの避難者の身体の状態などに関する報告や災害の規模などから、必要な場合、福祉避難所の開所の判断をする。

Q 福祉避難所の開所は、「福祉避難所の確保・運営ガイドライン（令和3年5月改定）」との相違があるように思うがどうか。

A 記載上の相違はあるが、運用上の大きな違いはない。

Q 避難行動要支援者は、最初の避難先を福祉避難所に指定できないのか。

A 通常は、まず、一般の避難所に避難していただき、そこでの避難が難しいと判断される方がおられる場合に、福祉避難所の開所を決定する。

住み続けられるまちづくりを

旭中学校防音対策事業の今後は？



上野 茂

Q 国の補助事業を断念し浜田市単独事業とすることによる学校への影響と今後の対応は？

A 旭中学校への米軍機による騒音の影響は甚大である。国の補助を受けることはかなわなかったが、例えば市の単独事業としても、旭中学校の「教育環境」の改善を行う必要があると考えている。

Q 校舎も古く、窓の二重サッシによる効果、事務費など考え場所の移転や建て替えを優先する考えはないのか？

A 現在の「学校統合再編計画」では対象となっていない。次期計画の方向性を見て判断する。

(その他の質問項目)
・島根あさひ社会復帰促進センターとの共同運営

観光看板の修繕を提案



劣化が進む田町の看板

Q 劣化した観光案内看板の現状と、修繕への対応状況は。

A 市民から「見づらい」との声が届いている。観光協会や地域団体と連携し、設置状況や劣化の有無など現況を把握する。近年は観光案内の手段も多様化しており、今後は、実際に機能している場所や訪問者が多い拠点を優先して、計画的に修繕・更新を行う。



岡本 正友

地域での見守り活動と買い物支援の拡充を



永見 利久

Q 買い物困難者の、安否確認を目的とした移動販売の現状は。

A 見守り移動販売は、5事業者で19地区において実施している。

Q 市内全域の買い物困難者数の把握は。

A 買い物困難者については把握していないが、各まちづくりセンターエリア内で、食料品・日用品を販売している。店舗がない地域は、全体で9地区が該当する。

Q 今後、実施事業者を増やす対策、予算の増額など買い物困難者対策は。

A 地域での見守り活動および買い物支援について、事業の周知を図り、事業実績や地域の実態を把握し、事業者の増や予算の確保など、今後の対策について検討する。

気候変動に具体的な対策を

災害シミュレーションは最大限に！



西田 清久

Q 防災行政無線屋外拡声子局のカバー率の認識は。

A 過去の被災地区・場所など、より情報伝達が必要な地点を中心に配置。音の届かない地域は戸別受信機や携帯電話などの組み合わせで対応する。

Q 河川周辺の地域では、大規模災害を想定したシミュレーション訓練と対応策が重要だと考えるがどうか。

A 総合防災訓練も参加者の拡大に伴い「地域丸ごと避難」の側面も出てくる。今後は、被害の状況に応じて避難先を変更、分散するシミュレーションも提案したい。災害対策本部訓練でも集団避難先の調整も研究したい。

(その他の質問項目)
・熱中症対策
・浜田市消防の体制

海の豊かさを守ろう

豊ヶ浦の魅力を発信するのは、今でしょ！



布施 賢司

- 【Q】地質・歴史・景観・伝承が複合した場所、石見豊ヶ浦は観光地として整備できているのか。
- 【A】環境整備やガイドサイン、公衆トイレなどを整備している。日曜日や祝日は無料ガイドを期間限定で実施、魅力の発信はホームページやSNS、パンフレットなどを活用している。
- 【Q】国の天然記念物（豊ヶ浦）区域内にある市道「めがね橋」の塩害や老朽化による修繕計画は。
- 【A】現在、歩行者の安全確保のため通行止め処置をとっている。今後、市内の橋梁修繕を進める中で、方針を検討する。
- （その他の質問項目）
- ・ 振り込め詐欺の対処
 - ・ 地域井戸端会での市民の声や提案

地域井戸端会を開催しました

地域井戸端会を5月7日から29日まで市内28カ所で開催し、延べ181人もの多くの方に参加いただき、誠にありがとうございました。当日は、特にテーマを設定せずに、暮らしにおける問題点や困り事など自由な意見を伺うとともに、活発な意見交換ができました。意見に対して3常任委員会で協議した結果は以下のとおりです。



総務文教委員会

交通手段に関する課題では、あいのりタクシーや自治会輸送、スクールバスの活用、免許返納後の支援など、地域に合った移動手段の確保や制度の見直しを求める声が多くありました。また、文化財の保護や郷土資料館、石見神楽の継承、三桜酒造跡地の活用など、浜田の歴史や魅力を将来にどう引き継ぐかについて、多様なご意見が寄せられました。子育て・教育分野でも、体育館の空調整備や児童クラブ支援、子どもが安心して遊べる環境づくりなど、現場の実情に即した改善を望む声が多く、地域全体で支える体制の重要性が再認識されました。その他、空き家対策、情報発信、広報紙の工夫、まちづくりセンターの支援、公共施設の利活用、地域イベントの開催など、暮らしに密着した提案が多数ありました。これらのご意見を受け、総務文教委員会として、今後も関係機関への働き掛けや議会活動に反映させてまいります。

福祉環境委員会

- 【地域医療について】委員会では、医師・コメディカルの誘致支援や病病・病診連携の強化などについて市長へ提言しており、今後も、将来にわたる「確かな安心」につながる医療体制の実現に向けて働き掛けてまいります。
- 【再生可能エネルギーについて】環境評価結果の公表は確認していますが、より分かりやすい周知や、自然環境と共生する開発の進め方が必要です。「乱開発ではないか」との懸念を払拭できるよう、市に対して慎重かつ責任ある事業推進を強く求めてまいります。
- 【水道事業について】現在、水道審議会では料金見直しや設備更新計画が議論されており、委員会としても注視を続けています。生活に不可欠な水の「当たり前」を守るため、市に説明責任を果たすよう促し、市民理解が進むよう努めてまいります。

産業建設委員会

西条柿などの振興作物の推進、お魚市場の活性化、地域から要望のある道路建設・改良の推進については、当委員会としても重要と考えておりますので、引き続き市に対して働き掛け、状況を注視していきます。

浜田駅周辺の活性化については、市も担当部署を新設し、今後にはにぎわい創出に向けた社会実験も控えています。浜田商工会議所もプロジェクトチームの立ち上げを計画していることを委員会としても確認しています。

また、6月定例会議では、多くの議員が地域井戸端会での意見を個人一般質問で取り上げ、鳥獣被害対策や市道および県道の維持管理、地域交流プラザまんでんの活用などについて、市に訴え掛けました。

協議結果は各会場に掲示しています。また、浜田市議会ホームページにも掲載しています。





NEWS
01

第5回 はまだ市民一日議会 を開催しました！



今回で5回目となる「はまだ市民一日議会」を令和7年7月6日に開催し、高校生、大学生、社会人の計8名の市民の皆さんに参加いただきました。

参加者の皆さんからは、浜田市の未来を考える上で示唆に富む提案が多数寄せられました。高校生からは浜田市のイベントや救命救急について、大学生からは卒業後も浜田に住み続けたいというまちづくりのための家賃補助やサードプレイス創設の提案がありました。社会人の方々からは、観光資源の活性化、子どもの教育環境整備、若者が夢を描ける機会創出、限界集落での活動に関する提案など、多岐にわたる意見を伺うことができました。

初めての議場にもかかわらず堂々と考えを述べられ、その熱意に私たちも感銘を受けました。今回お寄せいただいた貴重な提案や意見は、今後、議会の委員会などで協議し、議会活動にさまざまな形で活用させていただきます。

当日会場にお越しいただけなかった方も、YouTubeにて当日の議会の様子を動画でご覧いただけます。

これからも私たちは、市民の皆さんに議会をより身近に感じて親しんでいただけるよう、市民参加の機会を充実させていくことに努めてまいります。



当日の動画は
こちらから





浜田城・海浜公園等 観光資源の活性化策

たけした ひろし
竹下 洋さん

浜田城址の本丸跡地の見晴らしを良くし、また海浜公園の景観が良い場所をアピールするなど観光資源の活性化を図ってほしい。

浜田城については総務文教委員会が対応を協議する。海浜公園については公園を管理している指定管理者へ伝える。



教育の 重要性について

あもう たかひこ
天羽 貴彦さん

社会情勢が変化する中、子どもの主体性と創造力、適応力が伸びる教育のリビルドが必要。自然豊かな浜田市において学習の環境や方法の革新を。

総務文教委員会に対応を協議する。



参加型の イベントがしたい

まつかわ しょうこ
松川 祥子さん

浜田の魅力に気付き、商店街の活性化にもつながるスタンプラリーなど、市民や若者が体験できる参加型のイベントを実施して、浜田を好きになる人を増やしたい。

産業建設委員会に対応を協議する。

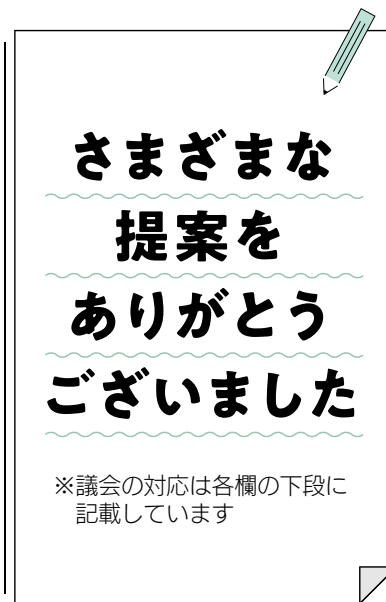


限界集落における、 活動状況のスリム化

むかい みつき
向井 満樹さん

限界集落の現状を理解し、今必要な課題の対応策に目を向け、「地域支え合い生活支援事業補助金」など市の補助金が地域に即して利用しやすくなるよう見直しを。

総務文教委員会に対応を協議する。



さまざまな
提案を
ありがとう
ございました

※議会の対応は各欄の下段に記載しています



救命講習の 定期開催について

ふじた あすか
藤田 明日華さん

個人を対象とした定期的な救命講習の開催を。救命への意識が向上することで助けられる命が増え、不足している医療人材の育成にもつながるのでは。

総務文教委員会に対応を協議する。



「ミライ☆メーカー浜田」 子ども×若者×地域が 相乗効果を生む循環モデルを

ふるかわ ひろみち
古川 弘道さん

「浜田をポジティブに」をキーワードに、子どもたちや若者のやってみたいことを、大人が本気で実現していく取組を。

議員が個人一般質問で取り扱う。



島根県立大学 浜田キャンパス学生の 家賃補助金

もり こうすけ
森 洸介さん

多くの学生が浜田市は家賃が高いと感じている。若者に選ばれ、学生が卒業後も住み続けられるまちになるためにも、家賃補助制度を検討してほしい。

総務文教委員会に対応を協議する。



浜田市の サードプレイスに ついて

いのうえ こういちろう
井上 弘一朗さん

若者の挑戦に継続的に寄り添う支援体制の整備、地域で若者を支えるメンターの人材の育成、学生など小さな挑戦に対応できる補助金制度の創設を。

総務文教委員会と産業建設委員会に対応を協議する。



NEWS 02

未来を担う子どもたちの声 浜田市議会に響いた希望の提案

令和7年6月、議場において石見小学校6年生の児童が、浜田市の未来に向けた要望や提案を発表しました。子どもたちの地域をより良くしたいという真剣な思いに深く感動するとともに、大人が見落としがちな課題を鋭く指摘され、希望に満ちた解決策を示すものでした。

特に印象的だったのは、複数のグループが浜田市の空き家問題に着目していた点です。空き家を浜田の特産品を生かした飲食店に転用し、SNSでの情報発信や配膳ロボットの導入まで具体的に検討された提案や空き家を介護施設や子育て支援の店舗として活用し、優しく笑顔になるまちの実現を目指すという心温まる提案もありました。提案されたテーマは以下のとおりです。

- ☑ フェンスを高くしよう大作戦
- ☑ 駄菓子屋増やそうプロジェクト
- ☑ 屋根付き運動場の提案
- ☑ キッズルーム改造大作戦
- ☑ スポーツを盛り上げよう大作戦
- ☑ 浜田市の魅力を発信しよう大作戦!!
- ☑ 空き家活用大作戦

- ☑ 誰もが楽しめる書店をつくる
- ☑ 中央図書館にカフェをつくる
- ☑ 空き家を飲食店へ
- ☑ お年寄りから小さい子まで楽しめる公園
- ☑ 欠点が少ない公園
- ☑ 長沢町「花笑み」の前の道路を安全に使えるようにする

今回の発表を通じ、子どもたちの現状分析能力の高さに感心し、また、グラフを用いた視覚的にも分かりやすい説明に感銘を受けました。高齢化の進行や若者の流出といった社会問題を的確に捉え、具体的な解決策を提示する力に浜田市の未来への大きな希望を感じ、子どもたちが示した利用者の目線で課題解決を考える姿勢は、市政の基本であると再認識させられました。

今回寄せられた提案の全てがすぐに実現できるわけではありません。しかし、子どもたちが描く浜田市の未来像は目指すべき姿であり、議会も「子どもたちが誇れるまちを創り上げる」ということにフォーカスしてまいります。





NEWS 03

子どもの声を市政へ 議員連盟が協働の架け橋に

浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟（以下、こども議連）では、市内で子どもの権利に関する活動を行う市民団体の方々や市の担当部局を招き、意見交換会を開催しました。令和7年3月に策定された「こども計画」は将来像を示した一方、具体的な施策や実行スケジュールは未定であるとして、市民団体とこども議連双方から「実効性あるアクションプランを早急に提示してほしい」と強く要望しました。

令和6年9月に市長へ申し入れを行った際には「まずは職員研修から着手したい」との見解を示されていましたが、研修講師の選定やカリキュラム策定について、日頃から現場で活動される市民団体の方々と協議の上進めることが確認されました。研修内容が実情に即した、実践的で有意義なものになることが期待されます。協働の第一歩として、大きな前進と言えるでしょう。

今後はこども議連が仲介役となり、市民団体と市執行部の間で定期的な意見・情報交換の場を設けていきます。計画策定から具体的施策の実行、フォローアップ、評価までを一気通貫で進める連携体制の構築を目指して、子どもたちの声を確実に市政に反映させるべく、引き続き議会として取組を強化してまいります。

構成員：村武（会長、事務局長）、牛尾、小川、柳楽、村木、肥後

NEWS 04

万博を揺るがした55頭の大蛇の蜿^{うねり} 新たな伝説へ！

浜田市議会石見神楽振興議員連盟（以下、神楽議連）は6月19日、20日に開催された大阪・関西万博での石見神楽特別公演を観覧しました。半世紀以上の時を経て、再び浜田市の伝統芸能が大阪の地に立ちました。会場のE X P Oホール「シャインハット」は2日とも満員御礼、公演初日にしてネットの検索ランキング1位を記録したことから公演への期待の高さがうかがえました。

そして、幕が上がり、腹の底を揺さぶる太鼓の轟音とともに、舞台は神話の世界へと変貌しました。スモークの中から現れたのは、観客の想像を絶する光景だったことでしょう。55年という歳月にちなんだ55頭もの巨大な大蛇が舞う圧倒的な迫力に、1,600人の観客は息を呑み、ホールはどよめきと歓声に包まれました。

演者たちの舞は単なる技術を超えていました。全身を揺さぶり、汗を飛び散らせて太鼓を叩く奏者。巨大な蛇胴をまるで自らの肉体のように操り命を吹き込む舞手。彼らがプロの演者ではなく、浜田に生きる一市民だと知ったとき、観客の驚きは深い感動へと変わったようでした。

終演後も鳴り止まぬ拍手の中、観客は口々に賞賛の言葉を贈っていました。神楽議連として、公演を見てくださった皆さんのお見送りを行いましたが、「感動した」「想像以上だった」という声や「浜田に行きたい」「宿と食事、神楽をセットした旅のプランを販売してほしい」という声もあり、浜田への誘客につながる感動を与えることができたのだと感じました。

この公演をきっかけに、浜田市における石見神楽の振興と文化の保存・継承がより一層進むよう、神楽議連としても引き続き応援していきます。

構成員：川神（会長）、西田（副会長）、布施（事務局長）、
他16人の議員



レポート



総務文教委員会

子どもの居場所づくりに 民間活力を

当委員会として、令和6年のはまだ市民一日議会で提案を受けた「不登校、発達障がい児への対応」について、発言された方との意見交換を行いました。

増加傾向にある不登校児童、生徒の居場所づくりを行政だけではなく民間でも行っていききたいという思いや、行政が行っている「山びこ学級」や「校内フリースクール」にも行けない子どもたちへメタバス空間で関わる手法が有効であると改めて詳しく説明を受けました。委員会として民間が運営するフリースクールと積極的に連携すべきであると考え、6月に教育委員会と意見交換を行いました。民間が運営する子どもの居場所づくりについては連携したいとの考えは示されたものの、メタバスの活用については本市において事例も少ないという課題もあります。そこで、委員会としても調査・研究の必要性があると考え、7月にメタバスの活用についての先進的な取組を行っている鹿児島市の事例を学びました。詳細な報告は改めて行政視察レポートにまとめます。

福祉環境委員会

海士町の環境政策を学ぶ

当委員会では「地域内経済循環と脱炭素の同時達成のため行う中古EVリース事業」および「海士町未来共創基金を活用したカーボンニュートラル推進に向けた施策」を調査項目として、7月に行政視察を実施しました。今回の視察で、浜田市に不足しているのは「若者が参加したいと思う環境」と「そのサポート体制」だと明確に感じました。海士町では、官民連携の拠点であるAMAホールディングス株式会社がふるさと納税を財源に設立した「未来共創基金」を活用して、中古の電気自動車のリースやマリンサービスの再開など、若者の挑戦が次々と実現しています。地域に資金が循環し、さらには脱炭素化にも取り組んだ結果、住民たちのワクワク感も高まっています。「持続可能なカーボンニュートラルに向けた挑戦を支援し、資金や人材を地域内で円滑に活用する中間支援」が重要です。これこそが浜田市の未来を切り開く鍵だと実感しました。

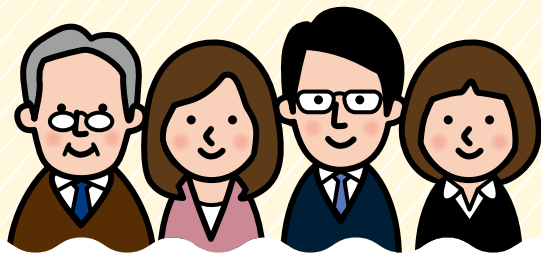


産業建設委員会

市内商工団体を参考人として現状を聴取

令和7年度から本格実施している「議会による事務事業評価」の当委員会所管事業である3事業のうち、「浜田市商業活性化事業」について、6月18日に浜田商工会議所および石央商工会の担当者に参考人として委員会に出席していただき、両組織の会員事業者数の推移、経営支援や事業承継および新規起業の現状などの活動状況を聴取しました。また、当委員会の取組課題としている地域小売店の問題やコロナ関連融資に対する対応現状も伺い、有意義な意見交換ができました。

3事業のうち「ふるさと体験村維持管理事業」や「担い手等育成支援事業」についても必要に応じて現地の視察や関係者の方からの意見聴取を実施して適切な評価に向けて所管事務調査を進めてまいります。



委員会活動

議会運営委員会

常任委員会の所管見直しを検討中

以前から検討課題としていた常任委員会の所管の見直しについて、各委員会と各会派でまとめた意見をもとに検討しています。

課題となっているのは、福祉環境委員会の調査において児童・生徒に関係する場合に、教育委員会は総務文教委員会の所管のため調査できない状況があるということです。

いじめや子どもの貧困、ヤングケアラーなどのさまざまな子どもに関わる問題を一体的に調査するために、教育委員会の所管を福祉環境委員会へ移管し、上下水道部の所管を福祉環境委員会から産業建設委員会へ移管してはとの案が出ています。

見直しは不要との意見もあることから、議員任期までの決定を目指して検討を進めてまいります。

議会改革推進特別委員会

議会の提案の検証と手法

議会の提案には、委員会や議員による条例提案、議会または委員会による政策提言、議会が採択した請願・陳情、委員会代表質問などがありますが、それぞれの検証手法について当委員会では検討を進めています。

議会が直近5年間に実施した政策提言の実績は14件あり、また現在の議員任期4年間で委員会付託され採択した請願は11件です。そして、これまで実施した委員会代表質問の実績は7件です。

議会が行う提案について、実施状況などを検証する手法を構築し、その実効性を高めるため、さらに調査・研究を進めてまいります。



地域経営のための議会改革度調査2024にて 全国2位!!

早稲田大学デモクラシー創造研究所が行う上記調査において浜田市議会が北海道の登別市議会に次いで全国第2位となりました。これは全国1,788自治体の議会（議会事務局）に調査を依頼し、有効回答を得た1,544自治体議会の中でのランキングです。

今回の調査では「地域経営に貢献する議会活動」として、議会が果たすべき役割を以下の3項目別に数値化されており、浜田市議会の各分野順位は「①政策力の強化：16位」「②主権者の参画：1位」「③議会機能の強化：17位」となりました。

浜田市議会が評価された特徴的な取組を上記の分野別にまとめると以下のとおりです。

引き続き住民福祉の増進につながるよう議会の改革を進めていきます。

①政策力の強化

- ・委員会の所管事務調査による政策提言
- ・議会のICT化推進
- ・中央図書館との連携
- ・情報公開や広報広聴機能の充実

②主権者の参画

- ・はまだ市民一日議会や地域井戸端会の実施
- ・会議資料の公開やYouTubeでの録画配信
- ・市内教育機関との主権者教育の取組

③議会機能の強化

- ・通年会期制の導入
- ・議会基本条例の見直し
- ・議会BCPの策定
- ・委員会代表質問の実施
- ・積極的な自由討議の実施



議長からのメッセージ

議長の笹田です。

今回は、浜田市議会が主権者教育の推進事例として、小学生が議場で議会の仕組みについて勉強、議場見学、

提案発表をされた小学校を紹介します。

6月 6日(金) 松原小学校6年生17人

6月16日(月) 石見小学校6年生61人(提案発表)

6月18日(水) 三階小学校3年生31人

6月25日(水) 三階小学校6年生39人

このように多くの小学生が議場に来られ、議長が直接、議会の仕組みや議員の仕事などを詳しく話します。

難しい言葉は極力避けて、分かりやすい言葉で話すようにしています。

最後に子どもたちに「将来、市長や議員になりたい人は？」と聞くようにしています。うれしいことに毎回、数名から手が挙がります。市政や議会に少しでも興味を持ってもらい、政治やまちづくりに参加する浜田っ子が増えてほしいですね。

浜田市議会では引き続き、主権者が参画しやすい環境をつくっていきます。





9月

定例会議の 予定

- ・9月1日(月) 開会
- ・9月2日(火)～9月5日(金) 一般質問

ぜひ傍聴にお越しください。
※変更になる場合があります。

次号 (Vol.79) は
12月1日発行予定です。

はまだ議会だより miniも 見てね

コチラ



8月1日発行の39号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。

次号は10月1日に発行予定です。

表紙に ついて

浜田市世界こども美術館で開催中の展覧会「さわっ手たのしむタッチミュージアム」の出品作品です。現代美術作家・ゆにこさんの布の作品は、実際に触って感触を確かめながら楽しむことができます。この企画展は9月21日(日)まで開催されています。どのような不思議でユニークな体験ができるのか、触って・感じて、心ゆくまでお楽しみください。

編集委員

委員	副委員長	委員
村武まゆみ	村木 勝也	肥後 孝俊
大谷 孝学	沖田 真治	川上 幾雄
柳 真智子	上野 清茂	西田 裕司
川神 裕司		

(記 村木 勝也)

梨田昌孝氏が浜田市名誉市民に同意されたことは、後輩として甲子園を目指し、今も野球に携わっている者として大変喜ばしいことです。私が野球から得た最も大きな学びは「役割」と「選択」です。高校時代、控え捕手だった私は、子ども心にも、チームにどう貢献できるかを考えました。それは、先発投手を気持ちよくマウンドに立たせることでした。また「選択」は、捕手の役割である野手への指示があります。複数の選択肢を考え、対処することは、今の私の礎となっています。野球を通して培ったこれらの学びは、人生のあらゆる局面で生かされています。

あとがき

★この議会だよりは一部当たり
29・48円(税込)でできています。